

厚生委員会情報連絡

令和6年10月11日

情報連絡事項	頁
1 令和6年度「ピンクリボンあだち」の開催について・・・・・・・・・・	2
2 11月の糖尿病月間の取り組みについて・・・・・・・・・・	4
3 足立区特定不妊治療費（先進医療）助成のオンライン申請及び郵送申請の 開始について・・・・・・・・・・	8
4 小児肺炎球菌ワクチンの変更について・・・・・・・・・・	8

(衛 生 部)

厚生委員会情報連絡一覧表

件 名	内 容	日時及び場所	P R の方法
<p>1 令和6年度「ピンクリボンあだち」の開催について</p> <p>所管課 【データヘルス推進課】</p>	<p>ピンクリボンあだち実行委員会を組織し、10月の乳がん月間に合わせて、乳がん啓発イベントを開催する。</p> <p>1 主催 ピンクリボンあだち実行委員会</p> <p>2 協力</p> <p>(1) たんぽぽの会（足立区乳がん体験者の会） (2) ユコー株式会社（胸部補整具） (3) 株式会社洋かつらセンター ルミアン (4) 株式会社アデランス (5) 城北ヤクルト販売株式会社 (6) 俊秀会エヌ・ケイ・クリニック（乳がん検診車） (7) 一般社団法人 足立区医師会</p> <p>3 開催内容</p> <p>(1) 講演会</p> <p>ア 「乳がん体験談」 登壇者：たんぽぽの会会員</p> <p>イ 「足立区乳がん検診の現状」 講師：足立区医師会 清水 忠夫氏</p>	<p>令和6年10月14日(月・祝) 12:00～16:00</p> <p>東京芸術センター 足立区千住1丁目4-1</p> <p>＜講演会＞ 13:00～14:15 天空劇場(21階)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あだち広報9月25日号 ・区ホームページ ・ポスター ・チラシ ・SNS

件 名	内 容	日時及び場所	P Rの方法
	<p>ウ 「遺伝性乳がんとあなたにもできる乳癌予防」</p> <p>講師：東京女子医科大学 乳腺外科教授 明石 定子氏</p> <p>(2) ダンスイベント New 子どもを中心とした区内ダンスチームによるダンスイベント</p> <p>(3) ウィッグ、胸部補整具展示・体験</p> <p>(4) ピンクリボン工作体験</p> <p>(5) 乳がん検診車体験</p> <p>ア 乳がん検診疑似体験 イ 乳がん触診モデル体験 ウ パンフレット等の配布</p> <p>4 今年度の主な変更点（予定）</p> <p>(1) 記念品 <u>ピンクリボンあだちのエコバッグ等を作製し、講演会参加者へ配布する。</u></p> <p>(2) ダンスイベント New <u>子どもを中心とした区内ダンスチームを招待し、天空劇場の舞台上で練習の成果を披露してもらうとともに、参加する子ども達の親世代にピンクリボン運動の存在と乳がん検診の大切さを知ってもらう機会とする。</u></p>	<p><ダンスイベント> 14:30～15:30 天空劇場(21階)</p> <p><ウィッグ、胸部補整具展示・体験></p> <p><ピンクリボン工作体験> 12:00～16:00 天空劇場ホワイエ</p> <p><乳がん検診車体験> 12:00～16:00 東京芸術センター前広場</p> <p>※イベント実施時間はいずれも予定</p>	

厚生委員会情報連絡一覧表

件 名	内 容	日時及び場所	P Rの方法
<p>2 11月の糖尿病月間の取り組みについて</p> <p>所管課 【こころとからだの健康づくり課】 【データヘルス推進課】</p>	<p>11月14日は「世界糖尿病デー」であり、区ではそれに合わせて11月を糖尿病月間としている。今年度は、以下の取り組みを実施する。</p> <p>1 概要 楽しみながら、生活習慣改善に向かうプロセスである「気づく」「行動」「習慣化」を後押しする企画を展開する。</p> <p>2 メインターゲット 30～40代の男性 ※ 40歳前健診の結果によるとヘモグロビンA1c値5.6%以上（要指導）の割合が約4人に1人（男性31%、女性26%）と高く、また野菜摂取量が低い（特に30代男性）。</p> <p>3 テーマ ベジ^{プラス} + ちょこ活 ※ 「ちょこ活」については以下4（1）参照。</p> <p>4 今回の糖尿病月間を皮切りにスタートさせる取り組み（予定） （1）身体活動量を増やす啓発「ちょこ活」 日常の動作も「身体活動」の一つであるという認識を浸透させ、現在より少しでも（まずはプラス5分から）身体活動を増やせるように啓発していく。</p>	<p>令和6年 11月1日 （金） ～11月30日 （土）</p> <p>区内各所</p>	<p>区広報紙、 区ホームページ、SNS掲載</p> <p>リーフレット配布、ポスター掲示</p>

件名	内容	日時及び場所	PRの方法
	<p>(2) 三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）と連携した取り組み</p> <p>ア 糖尿病重症化予防啓発リーフレットの配布</p> <p>主に医療機関、薬局にて配布することを想定。重症化のリスクを分かりやすく伝え、さらに必要な方の他科受診（内科→歯科など）にも繋がる内容とする。</p> <p>イ 仕組みを再構築した医科歯科連携歯科健診チケットの運用</p> <p>従来のものから対象者を拡大し運用を簡便化。糖尿病と関わりのある歯周病を早期発見・早期治療し、歯周病ならびに糖尿病の重症化を防ぐ。</p> <p>5 その他の主な取り組み（予定）</p> <p>(1) 自分の身体の状態やリスクに「気づく」</p> <p>ア 各種測定・リスクチェック</p> <p>(ア) 親子や若い世代が集まる場所等で、ベジチェックや体組成測定を実施。</p> <p>① ギャラクシティ、エル・ソフィア、区役所アトリウム</p> <p>② 元気な職場づくり応援事業支援事業所</p> <p>(イ) 自分のリスクを確かめる手段として、以下の事業等について周知（糖尿病月間リーフレットに掲載）。</p> <p>① 若年者対象の健診事業（スマホ de ドック、40歳前の健康づくり健診）</p>		

件名	内容	日時及び場所	PRの方法
	<p>② 区内12薬局でのヘモグロビンA1c測定</p> <p>③ 「糖尿病危険度チェック」サイト（NPO法人メディカル指南車）</p> <p>(2)「気づき」をもとに「行動」を起こし「習慣化」へ</p> <p>ア 応募企画「ベジ+ちょこ活で健康に！」</p> <p>対象期間中に「ちょこ活」に関する取り組みを実施し、達成したら区申請フォーム等で応募。抽選で健康グッズ等をプレゼント。</p> <p>※ 同時期に行われるスポーツ振興課主催の「あだちウォーキングチャレンジ」（7日間、1日8000歩以上）について、相互に企画を紹介し、条件を満たせば各々の企画への応募を可とする。</p> <p>イ 北足立市場や青果店とのコラボ企画「野菜の選び方教室」</p> <p>北足立市場を会場とし、野菜への関心を高め、野菜摂取に対する動機付けを強化する。動画配信も実施。</p> <p>ウ スーパー、コンビニ等民間企業との連携</p> <p>若い世代が自ずと野菜たっぷりの弁当や総菜を選択できるよう企業と連携した啓発を行う。</p> <p>4 広報・周知（予定）</p> <p>(1) あだち広報 10/25号</p> <p>(2) リーフレット配布及びポスター掲示</p>		

件 名	内 容	日時及び場所	P R の方法
	ア 区内主要駅 イ 保健センター、区民事務所、 ギャラクシティ等の区施設 ウ 医療機関、薬局 エ 元気な職場づくり応援事業支 援事業所 オ ワーク・ライフ・バランス認 定企業 カ 足立成和信用金庫、明治安田 生命保険相互会社等 (3) インターネット・SNS等 区ホームページ、A-メール、 LINE、X (旧 Twitter)、 Facebook、ビュー坊テレビ		

厚生委員会情報連絡一覧表

件 名	内 容	日時及び場所	P R の方法
3 足立区特定不妊治療費（先進医療）助成のオンライン申請及び郵送申請の開始について 所管課 【保健予防課】	足立区特定不妊治療費（先進医療）助成の申請において、オンライン申請及び郵送申請による受付を開始する。 1 概要 令和5年1月から「東京都特定不妊治療費（先進医療）助成事業」の決定を受けた方に対し、体外受精及び顕微授精を行う際に保険適用と併せて自費で実施された「先進医療」に係る費用の一部（上限50,000円）を東京都の上乗せで助成してきた。 このたび、東京都が原則、電子申請とすることとなったことから、区においても、これまでの窓口申請に加え、オンライン申請及び郵送申請を開始する。	運用開始日 令和6年10月1日（火）	区ホームページ、広報紙、チラシ配布
4 小児肺炎球菌ワクチンの変更について 所管課 【保健予防課】	令和6年10月1日から小児の肺炎球菌定期接種で用いるワクチンが変更となる。 1 新たに用いるワクチン 沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20） ※当面の間はこれまで使用してきたPCV15も使用可能 2 交互接種について PCV15からPCV20に切り替えて接種した場合の、安全性・有効性については確立していないため、原則交互接種は行わない。		区広報誌、ホームページ、予防接種ナビ等